

10春闘総行動

東北・貨物・青年

仙台で東北決起集会 400名が参加



3月5日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され、四百名が参加した。超える仲間が結集した。第一部の勾当台公園で

10春闘は3月17日、自動車や電気、鉄鋼など大手製造業の一斉回答が経営側から相次いで示され、景気の先行き不透明感やデフレを背景に、労組には厳冬回答となった。

JRにおいても、3月25日に貨物会社が11年連続のベアゼロ、定期昇給は10月1日の回答を示し、東日本会社は3月29日になり（26日の段階で回答がないことから緊急申し入れを行う）、ベアゼロ、夏季手当2・7カ月【詳細は業務報第970号】という低水準の回答を示した。

国労東日本としては、持ち帰り検討を行う中で、組合員の切実な要求との隔たりはあるものの、引き続き制度等改善要求の前進に全力をあげることを確認し、妥結・整理を図った。今号は、①東北総決起集会②貨物総行動③青年部学習交流会報告とします。

して東北協議会瀬下議長が挨拶に立ち、①春闘情勢②安全問題と職場労働条件の改善③JR不採用問題④参議院選挙闘争を勝利し平和と民主主義を守り生活向上を目指す勢力の前進と、更には春闘勝利と諸課題の前進、そして闘いを通じて新しい仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おうと訴えた。

また来賓として、社民党、共産党、宮城県平和労組会議からそれぞれ激励と連帯の挨拶を受け、東北交連労協からは連帯

のメッセージを頂いた。集会アピールを採択後、3ブロックに分かれ仙台市内をデモ行進。賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求を市民にアピールし、氣勢を上げた。



第二部は、国労東日本本部高野委員長から挨拶があり、①10春闘情勢②安全問題③組織強化・拡大④JR不採用問題の早期解決について報告した。

続いて評論家の佐高信氏より「いま、政治と経済を読む」と題した講演があった。

佐高氏は現在の社会・経済問題を例に出し、「トヨタ問題が報道されているが、これまでの企業の問題隠しが利用者に暴かれ、その結果マスコミの箝口令が解かれ、矛盾が一気に吹き出したもの」「民営化とは会社化であり、赤字と黒字のみを基準とし、安全より儲けが大事と宣言したことに他ならない」「労働組合は身に例えれば神経であり、痛みは病気を知らせるサイン。例え少数派であっても発信し続けなければならぬ」「等々、多くの実在の会社名を上げてその実態の暴露と、我々の目指すべき道を示唆した。

集会は、盛岡地本阿部副委員長、秋田地本渡邊書記長、仙台地本中島副委員長及び東北貨物協議会岩井議長からそれぞれ力強い決意表明を受け、最後に東北協議会齋藤副議長の団結頑張ろうで締められた。（仙台地本発）



(組合員の購読料は) (組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 695 定価 20円

2010年 4月 1日

第2回組織拡大標語
最優秀作品
今日も笑顔で
一人一人が
組織拡大
一声かけて

<http://www.e-nru.com>

携帯用ホームページはこちらのQRコードから

法律相談なら
東京共同法律事務所へ
TEL:03-3341-3133
(初回相談無料)

ひとりで悩んでいませんか?

借金、相続、離婚

東京共同法律事務所の弁護士にご相談ください
TEL:03-3341-3133
初回相談無料 (月~金 9:00-19:00)
◆秘密厳守◆

私たちは、あなたの組合の顧問弁護士です。組合員の方から直接ご相談を受け付けています。労働問題に限らず、相続・遺言など家族の問題、不動産の問題、マルチ商法被害等にも対応いたします。

東京都新宿区新宿1-15-9さわだビル5階
丸の内線「新宿御苑前」徒歩3分
都営新宿線「新宿三丁目」徒歩5分
東京共同法律事務所



先頭立ち闘う決意を述べていくこととし、本部は、最後はトップ会議を行っていき、本部は、

3月11日、3月12日に会社に出した報告がされ、19日には会社からの回答予定となっている。全職場からの闘いで交渉を押し上げ最後まで全力で取り組む決意を述べた。

引き続き春闘学集会として、日本大学の桜井徹教授を講師に招き「貨物会社の経営諸課題」について①分割・民営化の枠組みとJR貨物②分割・民営化以降のJRの

春を思わせる暖かい陽気の中、全水道会館から



3.15 貨物総行動

春闘署名1712筆

550名が参加

国労本部は10春闘の闘いとして、3・15貨物総行動を取り組んだ。

行動は全水道会館に集し、春闘総決起集会を全貨協真田事務次長の司会で、国労本部代表として田中副委員長から①定期昇給問題について②組織拡大について③3島貨物問題についての報告がされ、賃金交渉について最後はトップ会議を行っていき、本部は、



貨協奥村議長から賃金交渉経過と、春闘署名1,712筆を3月11日、12日に会社に提出した報告がされ、19日には会社からの回答予定となっている。全職場からの闘いで交渉を押し上げ最後まで全力で取り組む決意を述べた。

物再生の意義⑤JR貨物再生方策案の5点について貨物会社の矛盾・問題点を指摘された。本日学んだことを参加者全体で確認し学習会を終了し、最後に笠井事務長の団結ガソバローで総決起集会を終了した。

経営成績③JR貨物経営低迷の要因④JR貨物本社前を通り飯田橋児童公園まで、延べ550名のぼる組合員が結集し10春闘勝利、5,000円のベースアップ、労働条件改善、JR不採用問題早期解決等、力強いシュプレヒコールと共にデモ行進を整然と貫徹した。

将来の国労運動を担う

青年部学習交流会



国労東日本青年部

は、学習と交流を通じて労働者意識を高め団結を強化することを目的として、2月21日(22日)に静岡県熱海市に於いて学習交流会を開催し20名が参加しました。

1日目は前東日本国労本部部長の山根主吉氏を講師に迎え「もう少しまともな社会を、安心して働き暮らせる社会を・今こそ労働組合の出番のとき」と題して労働講座を行ないました。講座では大企業は莫大な利益を上げている一方で労働者の生活は一向に改善されていない中、格差と貧困が深刻な社会問題となっていることが報告

されました。そして、このような社会を変えていくには人口の約8割を占めている労働者の団結が必要であること、また、労働組合の持つべき性格と任務やあるべき姿、労働組合が誕生するまでの闘いの歴史などわかりやすく説明していただきました。

参加した青年部員は興味深く熱心に話を聞いており、東日本会社の抱える内部留保金を仮に社員に還元すると1人当たり約2,300万円にも及ぶ事が話され、東日本会社の組合員からは驚きの声で、そして、

2日目は武田組織部長を迎えて東日本管内の組織の現状と課題について提起がされ、各職場の雰囲気や他労組青年部の状況と国労に加入した今の気持ち、今後の組織拡大に向けて国労に求められていることや青年部それぞれ思いなど意見交換を行い、青年部長の集約で交流会を終了しました。

東日本青年部では、今後も将来の国労運動を担う青年の労働者意識の向上と、知識を身につけるための学習交流活動を続けます。

医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える

アフラックのがん保険

「生きる」を創る。

Afiac

アフラック(アメリカファミリー生命保険会社) 東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

アベニール 株式会社

TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。